

0歳
から



あなのなか
岩崎書店

森あさ子

二本足の生きもの(?)が、穴を見つけましたよ。中に入らずんばずん進んで行くと、ありさん・みみずさん・はさみむしさんなど、いろいろな動物と出会います。次に出会うのは誰かな?とわくわくしますね。

2歳
から



ねずみさんのなかしパン
こぐま社

多田ヒロシ

ねずみさんがしパンもってどこに行くのかな。ぞうさんのうち?それともきりんさんのうち?みんなそれぞれごはんを食べてるね。とつことつこと急いでは先は...?動物たちのおうちも個性的。

3歳
から



あかちゃんのゆりかご
借成社

レベッカ・ボンド
さくまゆみこ

うまれてくるあかちゃんのために、家族でゆりかごを作る物語。おとうさんが作ったゆりかごに、おじいちゃんがペンキを塗って、おばあちゃんがカバーをかけて...家族の温かい心が伝わります。

りんご

童心社

松野正子 鎌田暢子

あかいりんご きいろりんご ピンクのりんご。まるいりんごがたくさん。かわをむくとみんなしろりんご。ナイフで切って、しんを取ったら、おいしそうなりんごがお皿にいっぱい。ああおいしい!

いっぱいやさいさん

至光社

まど・みちお 斉藤恭久

きゅうりさんはきゅうりさんなのがうれしいのね、たまねぎさんはたまねぎさんなのがうれしいのね... たくさんのやさいさんの美しいよすと、いのちがいのちであることの喜びをうたう絵本。

めんたべよう!

福音館書店

小西英子

うどん、スパゲッティ、おそば、ラーメン...みんな大好きな麺が勢ぞろい。きつねにする?それともたぬき?どれにする?ぜんぶおいしそうで迷っちゃう!みんなで選びながら読むのも楽しいね。

だからこぶたちちゃん

借成社

きたやまようこ

おとうさんはぶた。おかあさんもぶた。だから、ぼくはこぶたちちゃん。どろんこになってもはだかになっても、おおきくなるまでこぶたちちゃん。シンプルな繰り返しがおもしろい、こぶたちちゃんの赤ちゃん絵本。

はるがきた

主婦の友社

ジーン・ジオン

マーガレット・ブロイ・グレアム こみやゆう

春がなかなかこない街。「ぼくたちで街を春にしよう!」という男の子のアイデアに、街の人たちはそろって街にペンキで絵を描き始めました。春を迎える人々の、わくわくした明るい気持ち伝わってきます。

あかくんまちをはしる

福音館書店

あんどうとしひこ

赤い車のあかくん、今日は青い車のあおくんとおでかけです。街を走るとたくさんの車に出会います。ゴミ収集車、救急車、バス、消防車...それぞれのようすを観察しながらドライブを楽しもう!

に〜っこり

くもん出版

いしづちひろ くわざわゆうこ

赤ちゃんが笑うのはどんなとき? つぶつぶいちごをもぐもぐしたら「にっこり」、ふわふわくまさんをぎゅっとしたら「にっこり」... 読んでいるうちに、大人も赤ちゃんも思わず「に〜っこり」する絵本。



ねことらくん

福音館書店

なかがわりえこ
やまわきゆりこ

お互いのしっぽとチョッキを交換しようとなねこが言うので、ゆうじはしっぽをつけて強いねこたらになりました。からすをやっつけたり、くまを助けたりと大活躍。

3-4
歳



アイスクリームがふってきた

あかね書房

わたなべしげお
おおともやすお

くまたくんが目を覚ますと、窓の外はあたり一面まっしろ。雪があとからあとから降ってきます。「アイスクリームがふってきた！」子どもたちは大喜び。雪合戦をしたり雪だるまを作ったり、たくさん遊びました。

4-5
歳



あたらしいおふとん

あかね書房

アン・ジョナス
角野栄子

パパとママが作ってくれたあたらしいおふとん。赤ちゃんのときのカーテンやお洋服の布を使った、思い出がいっぱいのおふとん。ベッドにかけて眠るとすてきな夢の国へ連れてってくれるの。

年齢別

図書館のおすすめ

読みきかせ絵本

2019-2020年版

二ひきのこぐまがたびにでた

評論社

ミラ・ギンズバーグ ホセ・アルエゴ
エアリアン・デューイ 山口文生

原題は『TWO GREEDY BEARS (二ひきの欲ばりなくま)』。世の中を知ろうと旅に出た二ひきのこぐま。チーズの分け前をめぐるけんかをしていると、そこにキツネがあらわれて…? ハンガリーの民話から。

アベコベさん

文化出版局

フランススカ・サイモン
ケレン・ラドロー 青山南

アベコベさんの家では夜も昼も、すべてがあべこべ。真夜中に起きるとパジャマに着がえて、ベッドで食事。昼間は眠ります。ある日、お隣さんに留守番を頼まれたアベコベさん家族は快く引き受けませんが…。

いねむりくつや

岩崎書店

としかひろ

くつやのおじさんが靴をつくっているうちに、疲れて眠ってしまいました。すると怒った靴たちが飛び出して、町にあふれてしまったから大変。町の人たちは暴れる靴をなんとかしようとしてますが…。

あかりの花 中国苗族民話

福音館書店

君島久子 赤羽末吉

歌う白いユリの花を山で見つけた働き者のトーリン。家に持ち帰ると美しい娘があらわれました。二人は仲よく暮らしましたが、豊かになるとトーリンは怠け者に。すると娘はトーリンの元を去ってしまい…。

きょうのごはん

偕成社

加藤休三

きょうのごはんはなに? こんがり焼いたさんまのおうち、お隣はカレーライス、そのお隣はオムライス… 近所をパトロールする猫の視点で見るおいしそうなごはん楽しい食卓。食育の絵本としても。



図書館にある本のなかから、読み聞かせで子どもたちに人気のある楽しい絵本をとりあげました。

☆対象年齢は出版社の情報をもとにしています。



名古屋柳城短期大学図書館